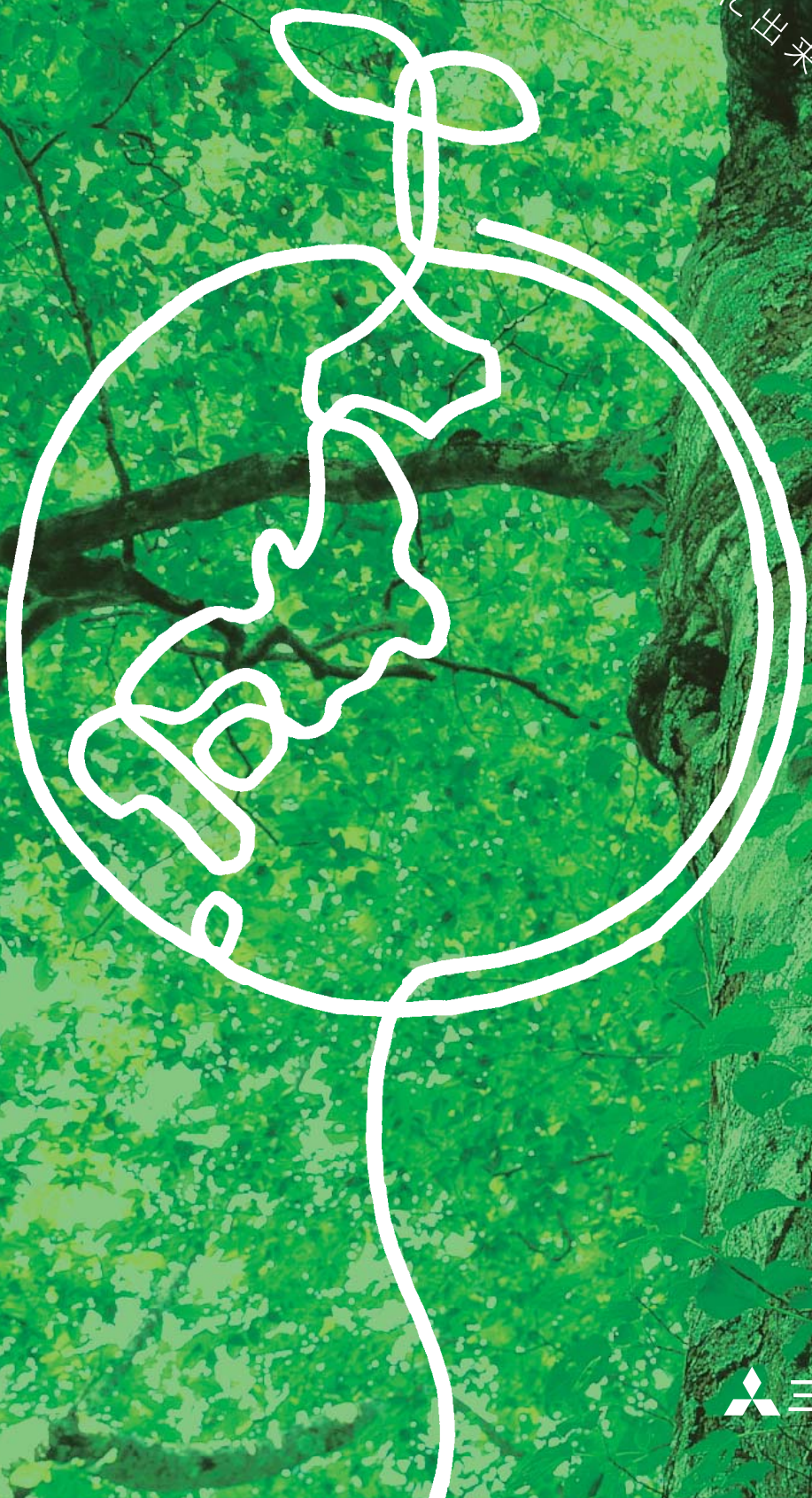
CSR Report 2009

企業としての役割、私たちに出来ること



三菱製紙販売株式会社

Top commitment

CSR Report 2009

会社は社会的存在である

「会社はだれのものか?」というテーマがあります。欧米では「会社は株主のもの」、日本では「会社は社員のもの」という意識が強いようです。株主、社員の他にも、顧客、取引先、銀行など、会社を支える多数の利害関係者(ステークホルダー)がいます。さらに、会社は国や地方自治体、地域社会などのお世話になっています。従って、「会社は会社を支える皆のもの」、極論すれば、「会社は社会のもの(社会的存在)」ということになります。

会社が社会的存在である以上、CSR(企業の社会的責任)を果たすのは当然です。会社の社会貢献の基本は、正当な企業活動により利益を計上し税金を払うことです。税金は国や地方自治体の行政により社会に還元されます。

会社は利益を追求する組織ですが、どんなことをしてでも儲ければ良い、という訳ではありません。コンプライアンス(法令遵守)は企業活動の必要最低条件です。「会社の常識は社会の非常識」であってはなりません。当社の社員は「立派な会社人(プロフェッショナル)」になる前に、「立派な社会人(シチズン)」になることを心がけます。

●紙パルプ産業は地球環境に優しい産業である

当社は1912年(明治45年)の創業以来、紙類の専門商社として、生活に深く関わりのある紙製品を多くのお客様に提供することを通じて、地域社会や産業、文化の発展に貢献してまいりました。

紙パルプ産業は森林を伐採することから、自然・環境破壊の元凶と目され、非難された時代もありましたが、最近では、かなり認識が変わってきています。
木は成長過程で大気中の炭酸ガスを吸収し固定化します。成長後、放っておくと過熟林となり、むしろ、呼吸作用による炭酸ガスの放出量の方が多くなってしまいます。従って、森林は成長した段階で計画的に伐採し植林することにより持続的オペレーションが可能となり、炭酸ガスの吸収量も増えることになります。

当社はFSC森林認証紙の販売を推進することにより、地球環境の改善に貢献してまいります。また、森林の健全な成長を図るための間伐材を使用した紙の販売にも力をいれています。さらに、古紙のリサイクルによる再生紙の販売を通じて、省資源、循環型社会の形成にも貢献しています。
当社はこれらの企業活動を通じて、「紙パルプ産業は環境に配慮した、地球に優しい産業である」ということを訴えてまいります。

●企業活動を通じて社会に貢献する

当社は、現在中期経営計画「エボリューション10」に取り組んでおり、計画の基本方針の1つに「CSR」を据え、「法令遵守」、「社会貢献」、「環境商品の拡販」を柱として、コンプライアンス意識の徹底、CSRの自覚と実践、環境団体・活動への積極的な参加、人権啓発活動を通じた個の尊重、官公庁・企業・市民団体への自然保護と森林保全へのPR活動促進、再生商品の拡充、FSCの理解とユーザーへの浸透等を目標に掲げ、全社員参加の下に全力で取り組んでいます。

なお、既に従来より取り組んでおります地球温暖化防止につながる諸施策としての省資源・省エネルギーの推進、廃棄物削減、グリーン商品購入促進等につきましても引き続き積極的に取り組み、持続可能な循環型社会の形成に努めるとともに、企業活動のさまざまな場面で環境負荷の低減に向けた努力を続けてまいります。また、地域社会との共生を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進し、社会とのより良い関係を構築・維持していくため、さらなる努力を重ねてまいります。

今後とも、株主、お取引先や地域社会をはじめとする多くのステークホルダーの皆様に対し、当社の事業活動や環境改善活動に関する情報を開示し、ご理解をいただくとともに、より一層皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいる所存です。

三菱製紙販売株式会社
取締役社長
平松由紀夫

目　次

P1・2　トップコミットメント
P3・4　CSR推進方針・体制
P5　環境マネジメント
P6　環境改善活動

●特集：環境をデザインする新しいスタイル。
P7　TOPIC① トマトプロジェクト
P8　TOPIC② つながる紙　～循環再生紙～

●特集：つかってそだてる、森づくりのカタチ。
P9　TOPIC① コピー用紙で森づくり
P10　TOPIC② フォレストサポート

P11　従業員とともに
P12　地域社会とともに
P13　2008年度環境・社会貢献活動
P14　2009年度の取り組み・会社概要

CSR推進方針・体制

CSR推進方針

私たちは、事業活動を通じて地球環境との調和を図りながら社会に貢献し、社会と共生していくために、利益の追求のみならず、さまざまなステークホルダーの皆様にその成果と課題を開示し、説明責任を果たしていくこと、コミュニケーションを図りながら企業活動を持続的に改善し、信頼関係を構築していくことが重要な社会的責務であると考えています。

当社はCSRを経営方針の柱の一つに据え、法令や社会規範を遵守し、環境や社会との関わりを含め、社会から信頼される企業をめざして、2003年10月に三菱製紙販売企業行動憲章を制定し、CSRの取り組みに関する基本としてまいりました。更にその社会的な使命に対する取り組み姿勢を明確にするため、2007年7月にCSR委員会を発足させ活動を開始しています。

また、コーポレート・ガバナンス体制や内部統制体制などの経営基盤を強化し、法令遵守のための取り組みを確実に実施するとともに、創造性を発揮し新たなビジネスチャンスと価値の創出を実現します。またステークホルダーの皆様の要望や期待を通じて企業活動に関する課題を認識し、その解決に努めてまいります。このような活動を拡大していくことが、当社と社会の持続的な発展に繋がると考えています。

今後とも社会性、透明性の高いバランスのとれた企業活動を通して倫理観のある企業風土作りに努め、社内の隅々まで順法精神を浸透させることにより、皆様から信頼される企業をめざして更なる推進に取り組んでまいります。三菱製紙販売の明日にご注目ください。

CSR推進体制

私たちはCSRの推進を積極的に行うために、次の推進体制を構築しています。
CSR委員会を頂点とし担当部署としてCSR推進室を置き、傘下にコンプライアンス委員会、環境委員会、社会貢献活動委員会を設置する体制をとっております。

- **CSR委員会**
  CSRに関する事項全般に関する審議・決定を行い、重要な事項については更に役員会で審議されます。
- **CSR推進室**
  CSRに関する運営方針や活動計画の策定、問題点や検討項目の抽出を行います。
- **コンプライアンス委員会**
  会社及び従業員が、コンプライアンスに関する社内基準を遵守しているか監督・支援する組織として設置しています。
- **環境委員会**
  環境方針に基づき、環境マネジメントシステムISO14001への取り組みを通じて環境負荷低減を図り、地球温暖化防止へ寄与するべく活動しています。
- **社会貢献活動委員会**
  社会貢献活動の具体案の検討、実施を通じて地域社会に貢献するべく取り組んでいます。

三菱製紙販売

- 情報の公開と信頼性確保
- 環境保全活動の推進
- 個の尊重・ハラスメントの禁止
- 法令遵守の徹底
- 地域社会とのコミュニケーション
- 国際社会との協調

株 主

適正な企業活動を通じて利益を確保し、株主の皆様への還元をめざします。
ホームページ等を通じて、経営計画や財務内容などの経営情報を的確に開示するとともに、経営の長期安定化を図り企業価値の向上に努めます。

取引先

良識と誠実さをもってお客様と接し、対等な立場で充分に話し合います。
FSC森林認証紙など、環境配慮商品の情報を積極的にお客様に提案するとともに、品質、価格、納期、安定供給等諸条件を公正な基準と適正な手続きで行ないます。

社会

企業活動においては法令を遵守し、公正、透明、自由な競争を行ないます。
良き地域住民となるよう地域社会の一員として調和に努めるとともに、多様なNPO活動に積極的に参加し、社会の安定と発展に貢献します。

従業員

性別、信条、身体的条件、社会的身分による差別やハラスメントを行ないません。また他人がそのような行為をすることを許しません。従業員の生み出す創造性を尊重し、一人ひとりの能力を充分に発揮できる働きやすい職場環境の整備に努めます。

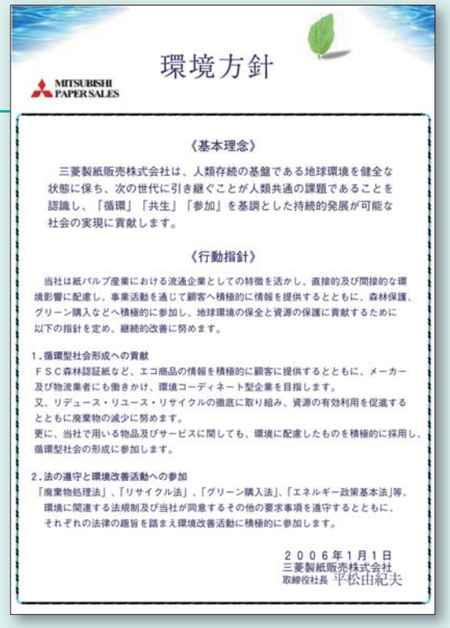
環境

環境マネジメントに関する国際規格の趣旨を踏まえ、「環境コーディネート型企業」をめざすとともに、「循環」「共生」「参加」を基調とした継続可能な社会の実現をめざします。また森林認証の取得など、森林資源の適正管理を通じて地球温暖化防止に貢献します。

環境マネジメント

環境方針

当社は次世代に豊かな自然環境と社会を残していくために、環境保全活動を重要な課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動を推進しています。
2001年に環境方針を制定して以来、「ISO14001」の取得と運用を通じて環境改善に取り組むとともに、2003年に世界的な環境問題の改善に取り組んでいるWWFジャパン及び適切な森林保全活動を目的としたWWF山笑会に加盟しました。また、紙パルプの流通企業として、「FSC森林認証紙」の普及を中心に、再生可能な資源の有効活用についても企画・提案に努めてまいりました。
今後も、環境コーディネート型企業としてさまざまな視点から環境保全に取り組んでまいります。



環境方針

MITSUBISHI PAPER SALES

《基本理念》

三菱製紙販売株式会社は、人類存続の基盤である地球環境を健全な状態に保ち、次の世代に引き継ぐことが人類共通の課題であることを認識し、「循環」「共生」「参加」を基調とした持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

《行動指針》

当社は紙パルプ産業における流通企業としての特徴を活かし、直接的及び間接的な環境影響に配慮し、事業活動を通じて顧客へ積極的に情報を提供するとともに、森林保護、グリーン購入などへ積極的に参加し、地球環境の保全と資源の保護に貢献するために以下の指針を定め、継続的改善に努めます。

1.循環型社会形成への貢献
ＦＳＣ森林認証紙など、エコ商品の情報を積極的に顧客に提供するとともに、メーカー及び物流業者にも働きかけ、環境コーディネート型企業を目指します。
又、リデュース・リユース・リサイクルの徹底に取り組み、資源の有効利用を促進するとともに廃棄物の減少に努めます。
更に、当社で用いる物品及びサービスに関しても、環境に配慮したものを積極的に採用し、循環型社会の形成に参加します。

2.法の遵守と環境改善活動への参加
「廃棄物処理法」、「リサイクル法」、「グリーン購入法」、「エネルギー政策基本法」等、環境に関連する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守するとともに、それぞれの法律の趣旨を踏まえ環境改善活動に積極的に参加します。

２００６年１月１日
三菱製紙販売株式会社
取締役社長 平松由紀夫

紙・パルプ類の調達について

当社は森林資源の保全の為、購入する紙・パルプ類に右記の木材に由来する原材料が含まれないように、最大限の努力をいたします。

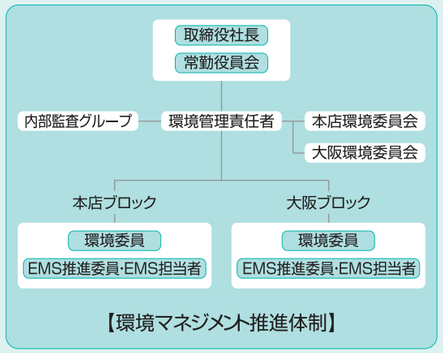
1.違法に伐採された木材
2.伝統的権利又は市民権を侵害して伐採された木材
3.管理活動により高い保護価値が脅威にさらされている森林から伐採された木材
4.植林地又は森林以外の用途に転換されつつある森林から伐採された木材
5.遺伝子組み換え樹木が植林されている森林からの木材

環境マネジメントシステム

当社は、2001年10月、東京本店において「ISO14001」認証を取得し、2002年10月には大阪、名古屋、東北、九州の各支店において「ISO14001」の認証範囲を拡大しました。
審査登録機関による審査を年に1回（更新審査は3年に1回）受けるとともに、各事業所とも内部監査を毎年実施し、環境マネジメントシステムの運用状況のチェックを行い、毎年12月にマネジメントレビューを実施しています。
また、2008年度の環境教育では、資源の有効活用を目的とした廃棄物の細かい分別について実施しました。
さらに環境委員会では、「ISO14001」の運用を通じてオフィスにおける省エネ活動やグリーン購入等の環境改善活動を報告し、地球温暖化防止へ寄与するべく継続的に活動しています。

JAB EMS Accreditation RE012

JMA EMS REGISTRATION CENTER JMAQA-E235



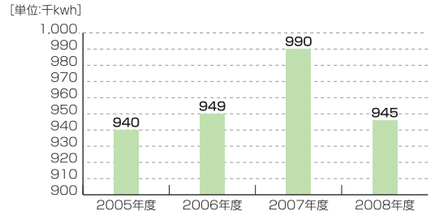
【環境マネジメント推進体制】

環境改善活動

当社は、オフィス内で発生する古紙やゴミなどのリサイクル推進、PPC用紙使用量、電力使用量、水の使用量の削減、事務用品のグリーン商品購入比率の向上に努めています。以下のグラフは本店及び大阪支店の累計です。

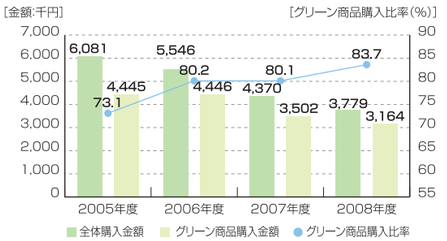
❶ 電力使用量

年始から全フロアで開始した“蛍光灯50%オフ”や、業務の効率化による“残業時間の減少”に努めてまいりました。
その結果、わずかではありますが、前年度を下回る結果となりました。



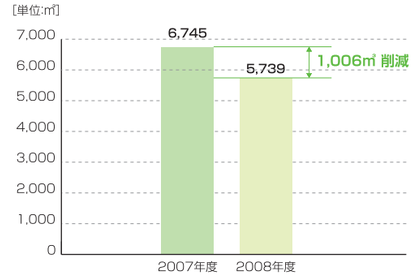
❷ グリーン商品購入の推進

オフィス内で使用している事務用品及びリース品について、環境配慮商品を積極的に選択しました。
その結果、グリーン商品購入比率は前年度を上回ることができました。



❸ 水の使用量の削減

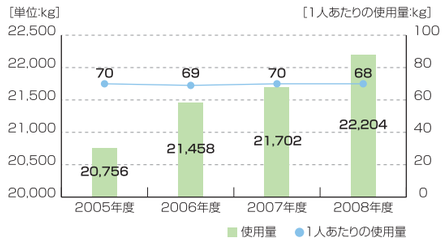
本店は2008年4月、大阪支店は8月に節水機器をトイレ・洗面所・手洗いに取り付けたことによって、水の使用量を前年度より削減することができました。



❹ PPC用紙使用量

社員数の増加に伴い、全体量は増加したものの、両面印刷の推進や、電子文書化に努めたことにより一人あたりの使用量は減少することができました。

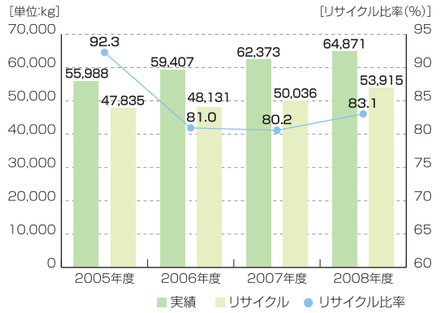
※使用量算出対象を見直したため、昨年のレポートと発表数値が異なります。



❺ リサイクルの推進

オフィス内で発生する古紙やゴミなどの廃棄物を細かく分別することにより、リサイクル比率向上をめざしています。
前年度と比べ、全体の廃棄物排出量は増加したものの、リサイクル比率は前年度を2.9%上回ることができました。

※廃棄物算出対象を見直したため、昨年のレポートと発表数値が異なります。



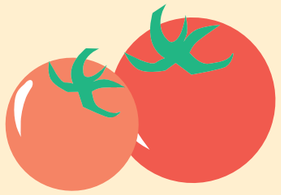
環境をデザインする新しいスタイル。

私たちは、次世代に豊かな自然環境と社会を引き継いでいくため、環境保全活動を重要な課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動を推進しています。そのひとつとして、今まで廃棄物として扱っていた資源の有効活用について、お客様とともに企画し、様々な分野で環境保全活動に取り組んでいます。

植物繊維の新たな利用

～トマトの葉茎の有効利用 with カゴメ株式会社様～

トマトの収穫後には大量の葉や茎が残渣として残り、現在は主に堆肥として処理されています。今回、カゴメ株式会社様の協力のもと、堆肥化以外の有効利用のひとつとして、葉や茎の繊維を利用し、紙やバイオマスプラスチックとして再利用化に取り組みました。



つながる紙 ～循環再生紙～

～取扱説明書のリサイクル with KDDI株式会社様～

KDDI株式会社様は、携帯電話機に同梱される「取扱説明書」「パンフレット」「チラシ」と「個装箱」のリサイクル及び循環再生紙として、同社の印刷物へ再利用する取り組みを全国で実施されています。
私たちはその仕組みを構築するとともに、紙の代理店としてのノウハウを活かした協力をさせていただいています。

KDDI

現在、循環再生紙は取扱説明書の他、KDDI株式会社様にて封筒、名刺、CSRレポートなどの各種発行物に使用されています。

名刺

封筒

取扱説明書・各種発行物

ECO-CYCLE

つかってそだてる、森づくりのカタチ。

国内の森林の循環を促し、“元気な森”を育てるために注目されているのが「間伐材」の有効活用です。私たちは、生活に身近な「紙」を通じて、間伐材（国産材）の利用促進につながる取り組みを実施し、森林保全活動を支援していきます。

コピー用紙で森づくり

～間伐に寄与するPPC用紙～

「森の町内会コピー用紙」には「間伐を促進し森林を健全に育成するための支援費用（間伐促進費）15円/kg」が含まれています。
私たちは、このコピー用紙を新しい環境商品としてお客様にご提案し、お客様とともに森林の荒廃を防ぐ環境活動を推進しています。

森の町内会
間伐を進めて森を元気にします。
www.mori-cho.org

「森の町内会」を通じた間伐促進

企業の環境貢献として「森の町内会コピー用紙」の購入・使用をご提案

間伐が未実施の森林は本来の機能が低下

企業が環境貢献として森の町内会コピー用紙を使用

間伐促進費により間伐を実施

健全な森林は、地球温暖化と土砂災害を防止し、生物多様性にも機能を発揮

環境NPOオフィス町内会が間伐促進費を管理し、全額が間伐に充てられる

※「森の町内会コピー用紙」は、「森の町内会」指定の間伐材と同重量の紙を「間伐に寄与した紙」とするクレジット方式により生産しています。

森の町内会とは

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた間伐促進活動です。この活動に賛同する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される間伐は、年間30haの規模になっています。

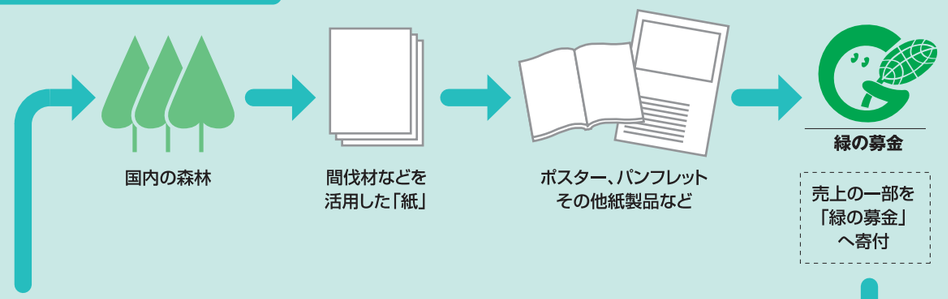
フォレストサポート

～「緑の募金」を通じた森林保全～

私たちは、社団法人国土緑化推進機構が事務局をつとめる「フォレストサポーターズ」に賛同するとともに、間伐材を使用した用紙売上の一部を「緑の募金」に寄付することで、森林保全活動の支援に取り組んでいます。

フォレストサポーターズ
美しい森林づくり推進国民運動

「緑の募金」を通じた森林保全



2009年度の新しい取り組み

「Green Heart Paper プロジェクト」

「緑の募金」を通じた新たな取り組みとして、“配るごとに森づくり活動に貢献できる間伐材（国産材）名刺”を提案しています。

間伐材、国産材を有効活用した名刺

緑の募金

名刺1枚が「緑の募金」1円に
▼詳しい情報はこちら▼
http://www.ghp-project.com

※本ページにおける「間伐材」とは間伐作業にて発生した材、「国産材」とは時間をかけて育成した森林の主伐も含む材として表記しています。
※【間伐】…植栽した木が成長に伴い込み合ってきた際、適度に木を伐採して本数を減らすことで健全な森林に育てるための必要な作業。

ECO-CYCLE

従業員とともに

人権教育

当社の行動憲章に人間の尊重を掲げ、人権啓発推進委員会を設置し、経営・幹部層研修をはじめ新入社員、階層別人権啓発研修を定期的に開催し、人間尊重の精神を経営の基盤として取り組んでいます。

人権啓発研修

4月	6月	9月	11月
新入社員	階層別	経営・幹部層	人権標語募集

育児・介護休業制度

少子高齢化が予想以上に進む社会情勢の中での雇用を確保するために、「育児・介護休業法」施行に伴い、育児や介護を必要とする家族を持つ従業員のために、休業制度を導入しています。短時間勤務の制度や子供の看護休暇制度を併設し、従業員が仕事と家庭を両立できるようにバックアップしています。

育児・介護休業制度利用者実績

2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
2名	2名	0名	2名

再雇用制度

少子高齢化が予想以上に進む社会情勢の中での雇用確保、さらに団塊の世代の定年による当社業務承継の問題を緩和するために、「改正高齢者雇用安定法」の施行に伴い、再雇用制度を導入しています。
この制度により、定年を迎えた従業員の退職後の雇用（高年齢者雇用）を確保しています。
2008年度は6名の従業員がこの制度を利用しています。

再雇用制度利用者実績

2007年度	2008年度
5名	6名

※改正高齢者雇用安定法

この制度は定年後も健康状態など一定の条件を満たした者で引き続き就業を希望する従業員を、法令による雇用確保措置にあわせ、満65歳の誕生日の前日まで雇用する制度です。

メンタルヘルス

従業員とその家族の心と体の健康維持を図るため、外部相談窓口として専門カウンセラーによるEAP（Employee Assistance Program）相談室を設置して、いつでも利用できるようにしています。
また、従業員を対象としたメンタルヘルスの研修会も実施しています。

ワーキンググループ活動

会社として常に進化を続けるために、新しいプロジェクトの遂行を目的として組織から横断的に適材を人選し、各目的に応じたワーキンググループを立ち上げ、活動を継続しています。明日の新しい三菱製紙販売を創る「エボリューション10」推進の原動力となっています。

地域社会とともに

❶ ペットボトルのキャップ回収

ペットボトルのキャップを社内に設置したBOXで回収し、エコキャップ推進団体を通じて世界の子供達へのワクチン費用として活用しています。
毎月約1,500個を回収しています。

❷ 美しい森林づくり推進国民運動「フォレストサポーターズ」に賛同

間伐材の利用や森林保全活動促進を目的とし、林野庁が中心となって展開している美しい森林づくり推進国民運動「フォレストサポーターズ」に賛同し、募金を通じた森林保全や間伐材の利用普及に取り組んでいます。

❸「私たちの地球を守ろう」キャンペーンに参加（大阪支店）

株式会社朝日新聞ニュース社が主催する「私たちの地球を守ろう」キャンペーンに参加、当社社名及びチームマイナス6%、FSC森林認証のロゴが入った専用ラックと英和新聞を寄贈し、地域社会への貢献と地球環境への取り組みをPRしています。

❹ エコプロダクツ2008

2008年12月に開催された国内最大級の環境展示会『エコプロダクツ2008』に、三菱製紙グループとして出展し、活動事例を紹介致しました。

❺ 継続活動

○森林保全活動への支援　「中央区の森」

深刻化する地球温暖化の防止や、次の世代につながる豊かな森づくりを進めるとともに、自然環境への関心を深めることを目的とした東京都中央区が主催している森林保全活動「中央区の森」事業を支援しています。

○「中央通りはな街道」沿道美化活動に参加

NPO法人「はな街道」が主催する沿道美化活動に参加しています。銀座中央通りの花壇に季節の花々を咲かせるための「フラワー募金」に協力するとともに、沿道の清掃活動も行っています。

NPO法人「はな街道」　URL:http://www.hanakaido.info/

○「まちかどクリーンデー」にて清掃活動を実施

東京都中央区が主催する「まちかどクリーンデー」に協賛し、月に一度、従業員が当社本店周辺地域の清掃活動を行っています。2008年度は126名の従業員が清掃活動に参加しました。

まちかどクリーンデー参加者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2008年度参加者合計
12名	11名	10名	11名	10名	11名	10名	11名	10名	10名	10名	10名	126名

2008年度環境・社会貢献活動

4月
- 環境教育実施
- まちかどクリーンデー（毎月）

5月
- 環境教育実施

6月
- 人権啓発研修
- 中国・四川大地震義捐金40万円
- FSC森林認証（COC認証）年次監査

7月
- 入社年次教育 岩手県岩泉町「FSC森林認証の森」を訪問
- はな街道「クリーンウォーク」に参加

8月
- ISO14001内部監査

9月
- ISO14001内部監査
- 人権啓発研修

10月
- 総合防災訓練（自衛消防訓練）
- ISO14001外部審査

11月
- コンプライアンス研修
- 人権標語募集

12月
- エコプロダクツ2008に三菱製紙グループとして出展
- はな街道「クリーンウォーク」に参加

2月
- 「フォレスト・サポーターズ」に参加

エコプロダクツ2008

中央区の森

中央通りはな街道

Social and Environment Contribution

2009年度の取り組み

本年度、新たに取り組んでいることについてご紹介いたします。

❶「緑の募金」を通じた森林保全推進

国内森林の保全を推進するため、間伐材や国産材を有効活用するとともに、社団法人国土緑化推進機構が実施する「緑の募金」に協力しています。
また、同機構が推進する美しい森林づくり国民運動「フォレストサポーターズ」に賛同し、森林づくりの支援に取り組んでいます。

緑の募金
http://www.green.or.jp/

フォレスト サポーターズ
美しい森林づくり推進国民運動
http://www.mori-zukuri.jp/

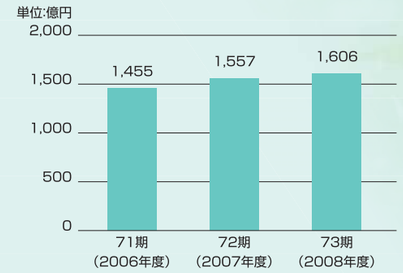
❷ 地球温暖化防止にチャレンジ！

東京都中央区版二酸化炭素排出抑制システムに参加して、全社員が環境を意識し、小さな取り組みから大きな効果に繋げていく活動として中央区に申請をしていきます。

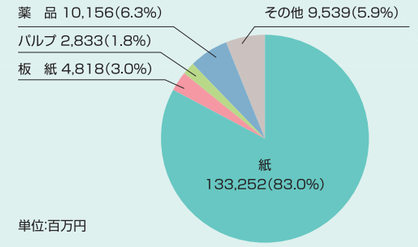
会 社 概 要

本店所在地	東京都中央区京橋2丁目6番4号
創　　業	1912年（明治45年）2月
設　　立	1956年（昭和31年）8月
資 本 金	6億円
事業内容	紙類・パルプ及び紙加工品の販売、製紙用工業薬品の製造並びに販売
代 表 者	取締役社長　平松 由紀夫
売 上 高	160,678百万円（2009年3月期）
経常利益	1,330百万円（2009年3月期）
従業員数	324名（2009年3月期）

■売上高推移



■品目別売上実績（73期）



単位:百万円

CSR Report 2009

三菱製紙販売株式会社

東京都中央区京橋2丁目6番4号
TEL：03-3566-2300　FAX：03-3566-2339
問い合わせ先　CSR推進室
http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp

このレポートは「FSC森林認証紙（ニューVマット　FSC-MX　127.9g/㎡）」と、揮発性有機溶剤を含まないアロマフリーで植物油100%の「植物性インキ」を使用し、印刷はアルカリ性現像廃液を出さず、イソプロピルアルコールなどを含む湿し水が不要な「水なし印刷方式」を採用しています。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%　www.team-6.jp